

第2学年C組 国語科学習指導案

授業者 大塚 悠 希

1 単元名

「考えよう！話合いの『虎の巻』」

2 生徒の実態と本単元の意図

(1) 本単元に至るまでの指導の系統

育成すべき国語の能力 〔思考力、判断力、表現力等〕	学習内容	単元・教材名 〈実施時期〉	学習活動と関連する 他領域等の指導
・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて、考えをまとめること。 (中1 A (1)オ)	・話題や展開の捉え方 ・互いの発言の結びつけ方	「話題や展開を捉えて話し合おう」 (1年9月)	・事象や行為、新城を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 〔知識及び技能〕中1(1)ウ

(2) 生徒の実態と本単元の意図

本学級の生徒は、1学年時に「話すこと・聞くこと」の(1)ウ「相手の反応を踏まえながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。」を重点にして学習を行ってきた。スピーチを言語活動として設定し、繰り返し学習を行うことで、プレゼンテーションソフトの活用や実物提示、原稿の段落構成や展開を工夫といった力を身につけてきた。また、スピーチの内容が向上することで、(1)エ「必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の意見をまとめること」の資質・能力も育まれてきた。一方で、国語の授業だけではなく、学校生活で行われる話合い活動では、互いの発言を結びつけたり、互いの立場や考えを尊重しながら話合い、結論を導いたりする力が育まれておらず、話合いに時間がかかったり、論点がずれていたりしてしまふ様子が散見される。

そこで、本単元では、言語活動例A(2)イ「それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動」と関連させながら、話合いを充実させるためのポイントについて考える学習活動を設定した。話合いのポイントとして考えられるのは以下の通りである。

- ・話合いのテーマを明確にする。
- ・自分の考えをしっかりともつ。
- ・話題や展開を捉えながら話を聞く。
- ・発言するときは、根拠を明確にするとともに、これまでの発言内容と結びつけて行う。
- ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。

本単元では、研究総論にもあるように、「令和の日本型学校教育」を目指すにあたり、生徒自らこのような話合いのポイントを、試行錯誤したり、これまでの考え方や解決の仕方を応用してさらに考えたりしながら、導き出すような言語活動にしたいと考える。

そのために、本単元では話合い活動をお互いに見る場面を設定し、評価したり、アドバイスしたりする学習活動を取り入れた。これまでの話合い活動は一斉に行われることが多く、自分たちがその様子を見る経験は少なかった。話合いの様子を客観的に見ることで、それぞれの話合いの良さや課題について、生徒自らが考え、自分なりの話合いのポイントを導き出すことができるよう、参観の視点を提示しながら指導していく。その中で、生徒それぞれが自分なりの話合いの「虎の巻」を見つけ、今後の話合い活動の質の向上を目指していきたい。

(3) 「挑戦心を引き出す学習指導と生徒の個別最適な学びの在り方」に向けて

【手立て1】 挑戦心を引き出す学習指導の工夫

答えが一つではない学習課題を設定することで、試行錯誤するとともに、これまでの学習を生かし、考え続けられるように指導していきたい。また、互いの話合い活動の様子を見ることで自分自身を振り返ったり、向上させたりしようとする挑戦心を高めることができるのではないかと考える。

【手立て2】 個別最適な学びの工夫

本単元では、生徒それぞれが話合いを充実させるためのポイントについて考える。まず、これまでの学校で行ってきた話合い活動を想起させ、自身の留意点や課題点を考える。そこから、今後自

分自身が身につけていくべき資質・能力を意識させ、個別最適な学びにつなげていきたい。

3 単元目標

- (1) 意見と根拠，具体と抽象など情報と情報の関係について理解することができる。
 (知識及び技能) (2)ア
- (2) 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くためのポイントについて，考えをまとめることができる。
 (思考力，判断力，表現力等) A(1)オ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに，読書を生活に役立て，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。
 (学びに向かう力，人間性等)

4 本単元における言語活動

それぞれの立場から考えを伝えるなどして，議論や討論をするとともに，話し合いについての自分の考えをまとめる活動。(関連：言語活動例Aイ)

5 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠，具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。(2)ア	①「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くためのポイントについて考えをまとめている。(A(1)オ)	①粘り強く話し合いに取り組み，学習課題に沿って，結論を導くためのポイントについて考えをまとめようとしている。

6 指導と評価の計画 (全5時間) (.....「挑戦心を引き出す学習指導の工夫」・「個別最適な学びの工夫」を特に意図した場面)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方をつかみ，学習の見通しをもつ。 ○話し合い活動のときに自分が気をつけていたことを考える。 ○<u>これまでの話し合い活動のできている点や課題点を考える。</u> ○班での話し合いのテーマを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの発言の結びつけ方 	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ話し合いのテーマである班を設定し，どのような立場や考えができるか，比較しやすいようにする。 <p>本時は，第1学年のA(1)オに基づいて指導を行うが，単元目標としていないことから，本単元の評価には含めない...</p>
2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに沿って，自分の立場を決め，自分の意見の根拠となりうる情報を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報と情報の関係 	<p>【知識・技能①】 観察・ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは，自分の意見と情報との関係に留意しながら，情報を集め，精選しているか確認する。 <p>(「努力を要する状況(C)への手立て)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見の理由を考えさせ，相手に納得してもらえるためにはどのような情報が必要になるか考えさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをまとめる。 		

提示する話し合い活動のテーマ例

- ・ボランティアを推奨するためにはどうすればよいか。
- ・働くために大切なことはどのようなことだろうか。
- ・ゴミのポイ捨てをなくすためにはどのようにすればよいか。
- ・エコバッグ使用を推奨するためにはどうすればよいか。

話し合いに向けた準備の手引き

- ・情報を集める。 例) 自分の体験，統計資料，報道記事
- ・根拠に適した情報を選ぶ。 例) 客観性の高さ，情報の確かさ
- ※インターネットから得た情報は，その信頼性を確認する。
- ・論点になりそうなことを整理する。
- ・異なる立場や考えを想定する。
- ・話し合いの展開を考え，計画を立てる。

4	<p>○まとめた自分の考えをもとに話し合い活動を行う。</p> <p>○半分の班は話し合い活動を行い、半分の班はその様子を見て、話し合いの様子について気付いたことやアドバイスを記録する。</p>	<p>○情報と情報の関係</p> <p>○結論を導くためのポイント</p>	<p>○話し合い活動を見ている班の中から、「記録係」を設定する。話し合いの発言や展開を記録することで、視覚的に振り返ることができるようにする。</p> <p>○「よかった」「分かりづらかった」という感想に終始しないために、「話し合いを見るポイント」を踏まえながら、その理由を明確に伝えることを指導する。</p>
<p>話し合いを見るときポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの進め方 ・根拠の提示の仕方 ・話し合いのまとめ方 ・それぞれの発言の仕方 ・発言の聞き方 			
<p>○5分間、話し合い活動を行い、<u>気付いたことやアドバイスを共有する。</u></p>			
<p>期待したい共有の姿①</p> <p>A：最初に発言する人が伝えたい情報をたくさん話すぎて、自分の意見をもったのが分かりづらくなっていました。だから、まずは自分の意見を伝えて、そのあと理由と根拠を伝えるといいと思います。</p> <p>B：根拠の部分がたくさんあって分かりづらかったと感じました。</p> <p>A：それならナンバリングをするのはどうでしょうか。1年生のときに、スピーチで活用している人がいました。…（後略）</p> <p>期待したい共有の姿②</p> <p>A：話し合いの始めに自分の意見がはっきり言えていたのがよかったと思います。根拠を具体的に話していたので、とても納得しました。それに対して、Yさんは、自分の意見をすぐに言い始めましたように感じました。Yさんの意見も根拠があり、とても分かりやすいものだったのですが、意見を伝え合うだけになっていたように感じました。</p> <p>B：確かに、お互いに意見を言うだけでなく、整理しながら話を進めていく必要があると感じました。</p> <p>A：そうすると、司会者がいることが大切なのではないでしょうか。</p> <p>B：では、続きは司会の人それぞれの意見と根拠を整理しながら進めていくと良さそうですね。…（後略）</p>			
<p>○アドバイスや意見を踏まえながら、再度話し合い活動を行う。</p>			
<p>期待したい生徒の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に納得してもらえるように情報をたくさん集めていた。しかし、情報が多いと混乱してしまうかも知れないので、情報を絞って紹介していたのがよかった。 ・自分の意見を相手に納得させるためにいろいろ考えていたが、結論を出すためには、相手の意見を尊重する必要があると感じた。そのために、意見と根拠を整理しながら、相手の意見を聞き、自分の意見と似ている部分を探し、その部分を中心に話し合いを進めるとスムーズに進むのではないかと考えた。 			
<p>○交代して話し合い活動を行う。</p> <p>○自分の考えを記録する。</p>			
<p>○話し合い活動を振り返り、<u>気付いたことや考えたことをまとめる。</u></p> <p>○班、クラスで共有し、単元のまとめを行う。</p> <p>○単元の振り返りを行う。</p>			
5 (本時)		○結論を導くためのポイント	<p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、第1時に記入した留意点・課題点を踏まえ、自分なりのポイントを記述できているか確認する。 （「努力を要する状況(C)への手立て」） ・話し合いを見たときのポイントについて、どのような点がよかったのかを考えるように指導する。

7 本時の学習指導（5／5）

(1) 目標

- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
- 〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 展開

学 習 活 動	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価
<p>1 前時の学習を振り返り，本時の課題を確認する。 【全体】</p> <p>本時のねらい</p> <p>話し合いを振り返り，話し合いの「虎の巻」を考えよう。</p>		
<p>2 共有した話し合いの記録で，振り返り，気付いたことや考えたことをまとめる。 【個人】</p> <p>3 グループになり，意見を交流する。 【グループ】</p>	<p>話し合いの記録の例</p> <p>A：私はエコバッグの使用を推奨するためには，大きさが大切になってくると思います。私の母も買い物に行くときはエコバッグを使用していますが，一つのエコバッグだけでは足りないことが多いです。だから，多くの人がエコバッグを使うためには，大きさが大切になると思います</p> <p>具体的な経験が入っていると納得できる</p> <p>話題が変わってしまっていないか？</p> <p>B：そもそも，エコバッグは必要なのでしょうが，エコバッグが推奨されたのは，SDG sとの関連が多いと思います。しかし，エコバッグを使用することで環境を守ることができるのでしょうか。エコバッグを使用することで，ビニール袋を作るときに発生する二酸化炭素を削減できると言われていました。しかし，現在，二酸化炭素を排出しないビニール袋を配布するお店も増えています。それならば…（後略）</p>	<p>○交流が情報交換とならないように再度「話し合いを見るときのポイント」を提示する。</p>
<p>期待したい話し合いの例</p> <p>A：話し合いを見ていた班からは，意見に対して根拠がしっかり示せていたからよかったという感想をもらいました。だから，意見と根拠がしっかりとつながることが大切だと思いました。</p> <p>B：確かにそうだと思いますが，「エコバッグは推奨すべき」という話し合いのテーマなのに，「エコバッグは必要ない，ビニール袋を使った方がよい」という意見が出てきたので，話し合いの初めがうまくいかなかったのが気になりました。</p> <p>C：確かにそうですね。そこで時間が多くかかってしまって，結論までいかなかったと思います。記録を見ても，話がうまく進んでいないように感じました。</p> <p>D：そうすると，お互いの意見をよく聞いて，どうやって話し合いを進めていくかを考えていく必要がありますね。</p> <p>A：今，記録を見ていたのですが，今回のテーマは「エコバッグ使用を推奨するためにはどうすればよいか」でした。そうすると，そもそも話し合いのスタートが異なってしまっていたように感じます。</p> <p>B：そうですね。話し合いを始めるときには，どのような話題なのか全員で確認しておく必要がありますね。</p> <p>C：また，他にもアドバイスでいいなと思ったことがあります。例えば…（後略）</p>		
<p>4 生徒の発言を基に，本単元のまとめをする。 【全体】</p>	<p>○結論を導くためのポイント</p>	<p>○ワークシートを活用し，これまでの学習を振り返り，本単元で考えたことをノートにまとめるよう指示する。</p>
<p>期待したい生徒の発言</p> <p>【2年C組が考える話し合いの「虎の巻」】</p> <p>○相手に正確に伝えるためのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を納得させるために根拠をしっかりと示すべし。 <p>○話し合いをスムーズに行うためのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報は自分の意見とつながるようにしっかりと選ぶべし。 ・これまでの話をよく聞き，それを踏まえて発言すべし。 ・話し合いの流れをよく見たり，聞いたりするべし。 ・類似点を中心に話し合いを進めるべし。 <p>○結論をまとめるためのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が話し合いに協力する意識をもつべし。 ・結論を出すためには，自分の意見と相手の意見の中間点をしっかりと見るべし。 	<p>※生徒から出た意見を目的や意図に応じて分類し，生徒が実生活で活用できるようにする。</p>	<p>評価規準</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは，第1時に記入した留意点・課題点を踏まえ，自分なりのポイントを記述できているか確認する。 <p>（「努力を要する」状況（C）への手立て）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを記入しようとする姿が見られない生徒については，Cと判断し，話し合いを見たときのポイントについて，どのような点がよかったのかを考えるように指導する。
<p>5 単元の振り返りをする。 【個人】</p> <p>期待される生徒の振り返り</p> <p>私が考える話し合いの「虎の巻」【話し合いの共通点を見つける】</p> <p>これまで話し合いをするときには，なかなか意見がまとまらず，長引いてしまうことがあった。今回の学習を通して，相手の意見を尊重し，お互いの意見の中間点を見つけ，そこについて話し合いを進めるとよりスムーズにいい話し合いができるのではないかと思った。今後，話し合いを行うときにはそのポイントを大切に行っていきたい。</p>		